

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)

【公開番号】特開 2011-240702 (P2011-240702A)
 【公開日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-048
 【出願番号】特願 2011-108757 (P2011-108757)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/135 (2006.01)

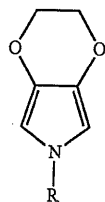
【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 N

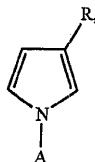
【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 6 月 20 日 (2014.6.20)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

撥油性ポリマー表面コーティングを有するデバイスを製造する方法であって、
 導電面を準備し、
シラン含有組成物の薄層を得るために、前記導電面をシラン含有組成物で処理し、
電解質およびモノマーを含む電解質溶液を準備し、
撥油性ポリマー表面コーティングを得るために、前記電解質溶液の存在下、前記処理し
た導電面上で電気化学重合を行う、方法。
ここで、前記モノマーは、下記のモノマー、又はこれらの混合物からなる群より選択さ
れ、



(I)



(II)

R はフルオロアルキル基、ペルフルオロアルキル基、フルオロアルコキシル基、 $-(CH_2)_x-L-(CH_2)_y-C_nF_{2n+1}$ からなる群から選択される置換基であり、L は二価のエーテル結合、x 及び y はそれぞれ 0 ~ 6 の整数、n は 1 ~ 20 の整数であり、A はアルキル基、フルオロアルキル基からなる群から選択される置換基である。

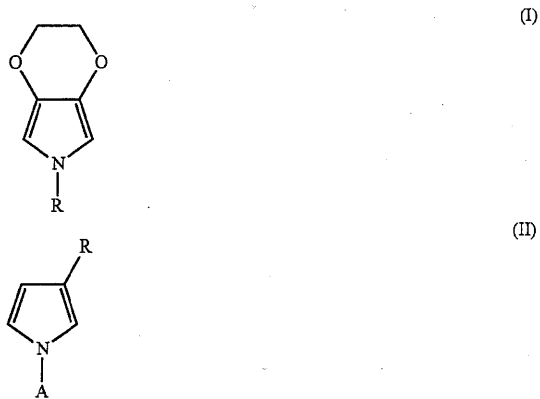
【請求項 2】

前記シラン含有組成物は、アミノアルキルシラン、メルカプトアルキル・シラン、シラン含有ピロールからなる群より選択される加水分解性シラン、又はこれらの混合物を含む

、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記撥油性ポリマー表面コーティングは、下記の繰り返し単位、又はこれらの混合物からなる群より選択される繰り返し単位を含有するフルオロポリマー組成物を含む、請求項 1 に記載の方法。



ここで、R はフルオロアルキル基、ペルフルオロアルキル基、フルオロアルコキシル基、 $-(CH_2)_x-L-(CH_2)_y-C_nF_{2n+1}$ からなる群から選択される置換基であり、L は二価のエーテル結合、x 及び y はそれぞれ 0 ~ 6 の整数、n は 1 ~ 20 の整数であり、A はアルキル基、フルオロアルキル基からなる群から選択される置換基である。